

# ハンドボール No. 28

Japan Handball Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生

全国大会  
 フロック大会  
 都道府県大会

男子  
 女子

試合番号 **アリーナA-男44**

年月日 **2023年7月29日(土)**  
 大会名 **令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

## 公式記録用紙

A 三重県立四日市工業高等学校						B 富山県立氷見高等学校															
北海道		市町村		会場		函館アリーナAコート		函館		準々決勝											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B										
	16	23		40	42																
7m得点/総数	A 2/2		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 0/0	7m得点/総数											
			1	2	3				1	2	3										
			2152	1557	2716				2950	2214											
No.	四日市工業					G	W	2'	D	DR	No.	氷見					G	W	2'	D	DR
1	山下 敦也										1	紅出 和之助									
2	小林 優斗					5		1			3	山本 天雅									
3 c	吉原 悠生					14					4	坂元 颯来					5				
4	中村 琉海					1					5	川崎 雄大					5		1		
5	金川 一輝					4		1			6	畑中 大翔									
6	井上 聡太										7	辻 拓真					2				
7	笹岡 春瑠					4					8	山崎 翼					10		1		
8	伊藤 汰智					2					9	坂本 光世					2		1		
10	土田 泰斗										10	齊藤 迪樂					7				
11	瀬木 尚也										11	本川 想羽					3				
12	太田 来輝										12	藪下 柁斗									
13	平井 仁人					10					13	村 眺太郎					8				
14	加藤 佑基										16	大森 柁弥									
15	市川 修斗										17 c	本川 拓斗									
監督A	織田 洋輔										監督A	海道 衛秀									
役員B	砂川 匠										役員B	酒井 政勝									
役員C	中村 俊輔										役員C	徳前 紀和									

A **織田 洋輔** チーム役員A署名 **海道 衛秀** B

特記事項

レフェリー	佐々木 優	三浦 亮太	<b>佐々木 優</b>	<b>三浦 亮太</b>
TD	藤澤 賢治	川村 宜幸	<b>藤澤 賢治</b>	<b>川村 宜幸</b>
MO	高橋 容平		<b>高橋 容平</b>	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告欄付き失格(DR)特記事項に報告欄として内容を記入

# ハンドボール No. 30



Japan Handball Association

記録用紙  
ランニングスコア

試合  
番号

アリーナA-男44

年月日	2023年7月29日(土)	会場名	函館アリーナコート
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会		

A	三胆県立四日市工業高等学校	40	vs	42	富山県立氷見高等学校	B	男子	準々決勝
---	---------------	----	----	----	------------	---	----	------

スローオフ  
氷見

16	-	23
24	-	19
-	-	-
-	-	-
-	-	7mTC
-	-	-

No.	四日市工業	G	W	2'	D	DR
1	山下 敦也					
2	小林 優斗	5		1		
3 c	吉原 悠生	14				
4	中村 琉海	1				
5	金川 一輝	4		1		
6	井上 聡太					
7	笹岡 春瑠	4				
8	伊藤 汰智	2				
10	王田 泰斗					
11	瀬木 尚也					
12	太田 来輝					
13	平井 仁人	10				
14	加藤 佑基					
15	市川 修斗					
監督A	織田 洋輔					
役員B	砂川 匠					
役員C	中村 俊輔					

No.	氷見	G	W	2'	D	DR
1	紅出 和之助					
3	山本 天雅					
4	坂元 颯来	5				
5	川崎 雄大	5		1		
6	畑中 大翔					
7	辻 拓真	2				
8	山崎 颯	10		1		
9	坂本 光世	2		1		
10	斉藤 迪樂	7				
11	本川 想羽	3				
12	藪下 柊斗					
13	村 眺太郎	8				
16	大森 柊弥					
17 c	本川 拓斗					
監督A	海道 衛秀					
役員B	酒井 政勝					
役員C	徳前 紀和					

Ref	佐々木 優	三浦 亮太
TD	藤澤 賢治	川村 宜幸
MO	高橋 容平	

A		B	
背番	結果 得点	時間	得点 結果 背番
前 半			
		01 40	1 8
3	1	01 47	
3	2	03 28	
2	S	04 30	
		04 55	2 9
3	3	05 25	
		06 21	3 8
3	4	07 02	
		07 45	4 10
7	5	08 32	
		09 41	5 7
		10 55	6 4
		11 37	7 5
3	6	12 36	
		13 08	8 9
5	7	13 17	
5	S	13 50	9 13
		14 40	10 11
7	8	15 13	
		15 34	11 13
13	9	16 06	
		16 27	12 5
3	10	17 02	
8	11	19 14	
		19 23	13 8
		20 01	14 7
8	12	20 07	S 9
		21 49	15 8
	T	21 52	
13	O	22 28	
		22 58	16 13
13	14	23 50	
		24 19	17 11
		25 00	18 10
		26 03	19 8
2	15	26 56	
		27 40	20 5
		27 47	S 8
		28 07	21 13
		29 05	22 11
5	16	29 40	
		29 50	T
		30 00	23 10
後 半			
		00 32	24 10
13	17	01 08	
7	18	01 28	
13	19	02 34	
13	20	03 21	

A		B	
背番	結果 得点	時間	得点 結果 背番
		04 00	25 8
13	O	21 04	05 S 5
		44 48	26 8
2	22	05 01	
		05 32	27 10
		06 13	28 13
		06 52	29 8
7	23	07 34	
2	24	08 32	
		08 56	30 10
		11 42	31 5
5	25	12 28	
		12 58	32 4
		13 56	33 4
5	26	14 11	
		14 47	34 4
3	27	15 25	
	T	15 57	
		18 34	35 13
3	28	18 50	
4	29	19 34	
		20 03	36 13
2	30	20 17	
		20 40	37 4
3	31	21 16	
3	32	21 50	
		22 02	38 5
13	33	22 10	
		22 14	T
		22 41	39 13
3	34	23 16	
2	35	23 41	
		24 03	40 8
3	36	24 41	
		27 09	41 10
	T	27 16	
13	37	28 26	
3	38	29 01	
		29 26	42 8
13	39	29 37	
3	40	29 59	

特記事項

# ハンドボール

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

No. 29

高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月29日(土)		会場	函館アリーナAコート	
種別	男子		回戦	準々決勝	
チーム名			チーム名		
県立四日市工業高等学校			県立氷見高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
40	16	前半	23	42	
	24	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

氷見⑧山崎の先制弾でスタートすると、四日市工業はすかさず③吉原が素早いリスタートから得点をあげる。氷見は、⑨坂本のカットインや⑩斉藤の速攻で得点を積み上げる。四日市工業は、③吉原のカットイン、ステップシュート、速攻などで得点を重ね、5対5の同点で10分を迎える。氷見は、⑬村を中心にPV⑤川崎とのコンビプレーから突破をねらい、四日市工業は、素早いリスタートから得点チャンスをうかがう。四日市工業は、15分直前に氷見RW⑪本川にサイドシュートを決められ3点差となるが、すぐにLW⑦笹岡がループシュートを打ち返し、まさに一進一退の攻防が続く。四日市工業GK①山下は、ファインセーブで仲間を奮起させ、それに応えるように⑥伊藤がカットインシュートを決めて1点差に詰め寄る。20分、氷見に退場者が出ている間にパスカットから速攻を許してしまった四日市工業は、再び3点差となったところでチームタイムアウトを請求。これを機に、氷見がギヤチェンジ。RW⑪本川LW⑩斉藤がサイドシュートを決めると、GK②薮下もファインセーブ。氷見は、前半を3分残したところで20点に到達し、その後、退場者を出すも、再びパスカットから得点するなどして23対16と、7点まで差を広げて前半を終えた。

後半は、氷見⑩斉藤の得点から始まったが、四日市工業はそれから4連取。その後も両校積極的に打ち合い、四日市工業の⑦笹岡がサイドシュートを決めたところで29対23。濡れたコートでの整備を終えると、四日市工業はオールコートマンツーマンに入る。氷見は、ポストに入る⑩斉藤や⑤川崎へのパス精度が高く、マンツーマンをかいくぐりながら得点を重ねていく。15分には8点に差を広げていたが、1回戦から数えて4試合目の氷見にとって、体力の消耗は激しかった。徐々に四日市工業に押し込まれるシーンが増えるが、④坂元や⑬村がPVとのコンビプレーで凌ぐ時間が続くようになった。

最後の5分は、相手に走られ⑬平井らに得点を許したが、氷見が2点差で逃げ切り、準決勝への切符を手にした。

記入者

高田 智史